

病害虫発生予察情報

8月月報

令和2年9月25日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2020年 8月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	33.8	2.0	23.7	0.6	28.2	1.3	16.5	34	78.2	132
中旬	36.1	4.7	25.9	2.9	30.1	3.5	10.5	17	93.9	166
下旬	34.0	3.1	24.5	2.0	28.6	2.5	20.0	25	84.5	144
平均	34.6	3.2	24.7	1.8	29.0	2.5				
合計							47.0	25	256.6	147

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1981～2010年の平均値）からの差（比）

<天候概況>

上旬：太平洋高気圧に覆われ概ね晴れたが、気圧の谷や湿った空気の影響で曇りの日もあった。
 中旬：太平洋高気圧に覆われて概ね晴れたが、気圧の谷や湿った空気の影響で雨や雷雨となった日もあった。期間を通して暖かい空気に覆われたため、気温のかなり高い日が続いた。
 下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、日中の昇温などにより大気の状態が不安定となり、雷を伴った雨の降った日もあった。

2 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：8月の高温、強日照によりトマトは日焼け、割れ、尻腐れ果が多かった。キュウリは、先細り、曲がり、くびれ果が多かった。エダマメは7月の日照不足が影響し、収量がやや少なかった。トウモロコシは果実が小ぶりで、先端不稔の発生がやや多い傾向であった。

葉菜類：高温と乾燥の影響により、コマツナの播種やキャベツ、ブロッコリーの定植が遅れ気味であった。コマツナでは株の不揃いや葉焼け等の生育不良が見られた。

根菜類：8月播種のニンジンで発芽不良や遅れが見られ、播種をやり直した圃場もあった。八王子ショウガは収穫が始まり、サイズがやや小ぶりであった。

イモ類：サトイモは高温と乾燥による葉焼け、萎れが激しく見られた。

(2) 果樹

農林総合研究センター果樹圃場(灰色低地土)における主要品種の収穫期と平年差(カッコ内)は以下のとおりであった。

ブドウ:収穫始めは、‘高尾’で1日早くなった。

‘高尾’収穫始 8月21日(-1日)

ナシ:収穫始めは‘幸水’で8日、‘秀玉’で3日早く、‘稲城’で2日遅くなった。

‘幸水’収穫始 8月7日(-8日)

‘稲城’収穫始 8月26日(+2日)

‘秀玉’収穫始 8月24日(-3日)

(3) 茶樹

乾燥の影響により、新芽の伸長が悪かった。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セジロウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニセナシサビダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

果樹共通

カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
-------	-------	-----------

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノホソガ	< やや多 >	発生はやや多かった。

(4) 野菜の病害虫

キュウリ

べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ナス

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コマツナ		
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キスジノミハムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
サツマイモ		
イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 少 >	発生は少なかった。
サトイモ		
ワタアブラムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
セスジスズメ	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カブラヤガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハイマダラノメイガ	< やや多 >	発生は一部圃場でやや多かった。
カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

チャノホコリダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 植木の病害虫

街路樹など

モンクロシャチホコ	< 並 >	発生は平年並であった。
-----------	-------	-------------

(7) 島しょの病害虫

八丈島：キュウリでハダニ類の発生が多かった。

小笠原：オクラとナスでフタテンミドリヒメヨコバイの発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
コドリンガ	<誘殺なし>

病害虫防除所ホームページ

[https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/s
hoku/anzen/boujyo/](https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/s
hoku/anzen/boujyo/)

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。